

鳥信 WEB 版 2020 年 12 月号

<筑後エリア>

* 10月 18日 ジョウビタキ雄 * 1・甘木公園 森池勝利

甘木公園で散歩中に、ジョウビタキの雄が顔を見せて、コツコツと鳴いてくれました今年の初認です。

* 10月 18日 花立山の鳥たち 野田（美）

矢部の源流公園でのブッポウソウの巣箱確認の後、清水山大観峰で 13 時から 1 時間ほど観察しましたが猛禽は全く飛んでくれませんでしたので、気を取り直して花立山に寄って帰りました。

アオバト♀が何かの木の実を食べていたらしく飛び立って近くの枝に止まりました。城山公園の定位置の枝にはカワセミ♂がしばらく止まってくれました。今冬の初認のジョウビタキ♂♀、シロハラ（鳴き声のみ）も確認しました。

笹鳴きをするウグイスが近づいて来るのを身をひそめて待っていたところ、別の方向からウグイスよりもっと高音のチャツ、チャツという声が聞こえましたので、もしやと藪を覗き見るとヤブサメが林床をせわしなく動きながら遠ざかっていました。（残念ながら写真は、「ヤブサメのような物」が写った程度にしか撮れませんでした）

ML で「ヤブサメ情報があったら・・・」とのことでしたので報告しますが、時期的には渡りの途中の可能性が高いでしょうね。それとヤブサメ情報のやり取りのなかで、「最近ヤブサメが減ったようだ、さえずりを聞くことが無くなった」といったお話がありましたが、野鳥の会の松田さんが、興味深いエッセイをネットにあげています。

（http://www.digisco.com/mm/dt_30/toku3.htm またはヤフーの検索窓に「ヤブサメは若いうちに聞け」と入力して検索）

今年の夏は古処山に 5 回ほど登りましたが、「筑後の探鳥地」誌に、古処山で観察される鳥として紹介されているヤブサメの声がまったく聞けなかったのは、「聞こえていなかつた」だけかもしれません。来年はもう少し意識して聞き取ろうと思いました。



▲アオバト 撮影：野田（美）



▲カワセミ 撮影：野田（美）

* 10月 21日 ノビタキ*冬羽・ゆめタウン裏河川敷 野田敦子

河川敷には船着場を挟んで両側に草原があります。片側は草が刈り込まれ地肌が見えしていました。そこにはモズやヒバリ、カササギ、スズメ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、と、いつもの鳥しかいませんでした。土手を登って引き返しながら河川敷を観ていると、刈り残しのススキに数羽の鳥がいて、盛んに空中の虫を獲ってはその穂先に留まります。双眼鏡だけではよくわからなかつたので、カメラで撮って自宅で調べました。冬羽のノビタキでした。4月に黒くなった夏羽を見ていたので、褐色に替わった冬羽のノビタキが見れて嬉しかったです。

* 10月 25日 アリスイ*1・船小屋中島公園 野田敦子

黒崎公園の探鳥会の後、数人で船小屋の中島公園に行きました。矢部川の橋を挟んで上流側は立ち入り禁止でしたが下流側は入れました。セグロセキレイ、イカルチドリ、カワセミ、エゾビタキ、アトリ、シロハラ、ジョウビタキ、モズ等が観察できました。くすの木の上の方に、見え隠れする小鳥がいました。コゲラに似た動きですが、シルエットが違います。少しの間、背中を半分だけ見せて枝に静止したので写真が撮れました。背中に特徴のある模様があります。アリスイです。帰ってからネットでアリスイの声を聴きましたが、モズの高鳴きに似ていると思いました。ずっと観たいと思ったので、すごく嬉しかったです。

* 10月 30日 小郡市松崎大添池・コウノトリ*3 富永 誠

急に寒くなり北国からの鳥たちも数が増えてきました。皆さんも新聞（筑後版）でご存知かと思いますが小郡市松崎の大添池にコウノトリが来るようになりました

10月 20日に JO133♀と JO259♀が来ていましたが 10月 30日に新たに JO330♀が加わり 3羽がきました。

なお大添池は地元の福岡朝倉コウノトリの会が公園の清掃を条件として使用させていただいているのでマナーを守って観察してください。



▲コウノトリ 撮影：富永 誠

* 11月1日 オジロビタキ・城山公園 野田敦子

公園の池の水が減り、池底が3割程見えていましたが、カルガモが20羽程寝ていました。家族連れが多くテントを張りバーベキューをするなど、鳥見には不向きな状況でした。諦めて帰ろうとした時、道路そばの木にオジロビタキを見つけました。喉がオレンジ色で尾羽をピンと立てていました。低くジジジジジと繰り返し鳴き、聴き慣れない声だったので見つけられたと思います。短時間の鳥見でしたが満足して帰りました。

(注：その後、ニシオジロビタキだったことがわかりました)

* 11月1日 シロハラ・花立山 野田(美)

ソウシチョウのさえずりが聞かれた他は普通の鳥のみでした。城山公園のイチョウの木にシロハラ♂がじっと止まっていました。もう少しイチョウが色づいたら、より秋らしい写真になったのですが。



*コノハズク情報 野田（美）

先日、久留米市野中町五差路の近くに住む知人から、今年の5月に自宅に隣接する林で一晩中コノハズクが鳴いていたと聞きました。60年以上住んでいて初めてのことだそうです。奥さんは「ずっと金属棒を叩いている人がいて気味が悪い」と言っていたそうで、初めてコノハズクの声を聞いたらそう思うかもしれません。渡りの時期には街中でも意外な鳥が現れるみたいです。

*11月7日 コクマルガラス*黒型・田主丸町 池長裕史

まだまだ本調子ではありませんが、車での移動はできますのでドライブウォッチングをしてみました。たくさんのミヤマガラスの中で「キュー・キュー」と声がするので探してみるとコクマルガラスがいました。シロマルではありませんが、今シーズンの初お目見えです。



▲コクマルガラス黒型 撮影：池長裕史

<近隣エリア>

*10月25日 山神ダムの鳥たち 野田（美）

あちこちでソウシチョウがさえずっていました。アオゲラ♂がムベの実に嘴を突き刺して果実（果汁？）を吸っていました。他の実にもアオゲラが空けたと思われる穴が開いています。口を開けたアケビではメジロが果肉を食べていました。20羽くらいのアトリの群れが木の上や草叢で採食していましたが、突然、ハイタカ（多分）が来襲したため、叢の中に隠れてしまって出てこなくなりました。



▲アオゲラ 撮影：野田（美）



▲アトリ 撮影：野田（美）

<九州各地>

* 10月 13日 佐賀県嬉野温泉で見つけた野鳥の巣 松富士将和

13日の 80歳の誕生日に娘たちから祝ってもらった嬉野温泉の露天湯から見えた高さ 3, 5mほどの高さにあった巣(縦長の長さ 15Cm ほどの巣)は、何の巣でしょうか。カワラヒワなどの巣より、はるかに大きな巣でしたが・・・

